

所属・氏名（ 助産学専攻科 氏名：入江 寿美代 ）

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
1 (報告・発表) 広島国際大学第19回看護学部公開講座「ベビーマッサージで親子のスキンシップ」 《筆頭執筆者》	共著	2013年3月	広島国際大学看護学ジャーナル第10巻第1号51-56	広島国際大学第19回看護学部公開講座で「ベビーマッサージで親子のスキンシップ」というタイトルで講座の講師を担当した。講座を受講した方のアンケート結果より、講座の効果や地域の方々の大学に求める要望等をまとめ報告した。(6頁) 共同執筆者：入江寿美代，岡島文恵，山本洋美 担当部分の概要:執筆全般
2 (報告・発表) 広島市における産後ケア事業のニーズ調査 《筆頭執筆者》	共著	2014年5月	第70回日本助産師学会誌	広島県助産師会では、妊産婦に産後ケアへの強いニーズを持っていることがわかり、病院では対応できない母子に寄り添う産後ケアセンターを運営したいと会員からの要請が出された。広島県助産師会でも産後ケア事業を立ち上げることを検討するため、広島市における産後ケア施設に関するニーズを把握することを目的に、アンケート調査を行った。 Author：入江寿美代，高島麻季，田中美佳，吉田康子，野崎悦子，桑原真由，真鍋明子，西本紗織 (当該論文のページ数：2頁) 担当部分の概要:データの分析，執筆全般
3 (報告・発表) 出産場所選択理由と母親の妊娠・出産に対するニーズについて	共著	2014年9月	母性衛生 Vol.55 No.3 Page273	出産場所選択理由の最大条件は立地条件であり、妊婦健診などが受診しやすいことが求められている。また次回の出産場所に対する希望は出産経験を踏まえて、立地条件だけではなく医療従事者のケアの質や医療体制に関するニーズへの変化が見られていることが分かった。 Author：門嶋千穂，入江寿美代 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4 (報告・発表) Is childbirth at midwifery home riskier than hospital in Japan? -A comparative analysis of prenatal data-	共著	2015年7月	The ICM Asia Pacific Regional Conference 2015, Japan.	助産所及び自宅での出生率が高いことが、母子の死亡率に影響しているとは言えない。また、助産師のみで行う分娩が危険であるという見解は、厚生労働省の統計データからは証明されなかった。 Author：前田賀也子，入江寿美代，平岡敬子 共同研究につき本人担当部分抽出不可能